

10 / 2

## 茨城国体バドミントン競技 少年女子の部が3位入賞！

9月29日から10月2日にかけて石岡市で開催した「いきいき茨城ゆめ国体」バドミントン競技。石岡一高3年の海老澤彩さん（写真真ん中）と小川明華さん（写真左）が少年女子の部で長崎県との試合に勝利し、3位に入賞しました。成年女子の部を含む女子総合成績では1位という快挙を達成。「今後も頑張って世界で活躍する選手になりたい」と語る海老澤さん。皆さんとても素晴らしい試合を見せてくれました。その他の試合結果は次号以降の広報紙でお知らせしていきます。



9 / 12-13

## 中秋の名月に響く「じゃかもこじゃん」 柿岡八幡神社で行われた太々神楽

中秋の名月に合わせ、2日間、午後7時ごろから約4時間かけて、12の神楽舞を披露する「柿岡八幡神社太々神楽」。奏でられるリズムが「じゃかもこじゃん」と聞こえることから「柿岡のじゃかもこじゃん」と呼ばれ親しまれ、毎年多くの人で賑わいます。

演目にある「神子（みこ）の舞」は、地域の小学3年生4人が務めます。舞を披露した平真衣さん（9歳）は、「衣装を身に着けてゆつくりと動く所が難しいけれど、友達と一緒に舞うことができて楽しいです」と話しました。



9 / 18

## 自分の運転見つめ直す いきいきクラブ連合会対象に交通安全教室

茨城県の事業を活用し、連合会所属の代表者が事前にドライブレコーダーの映像を提供し、その映像をもとに正しい運転方法の講義を受けました。実際の運転映像を通して、自分の運転を改めて客観的に見つめ直すきっかけになりました。

石岡市民の3人に1人は65歳以上。地方の暮らしに車は不可欠な一方で、これからの自分の運転に不安を感じる声も聞かれます。市はこれからの超高齢社会に向き合うため、関係機関と連携した意見交換会を実施中です。



9 / 24

## 農林中金・県森林組合がベンチなど寄贈 国体開催直前の石岡運動公園に設置

農林中央金庫・県森林組合連合会より、国産スギ・ヒノキ材を活用した木製丸太ベンチ10基と、既存ベンチ補修用木材等が、石岡運動公園に寄贈されました。

農林中央金庫は農林水産業の協同組合を基盤とする金融機関としてCSR（企業による地域貢献）活動に取り組んでおり、今回はその一環としてのもの。同金庫関東業務部の竹淵晶代部長は「市民の皆さんに木のぬくもりと心地よさを伝えながら、地域林業の振興を後押ししたい」と語りました。



9 / 27

## 交通事故ナシ（梨）目指して 街頭活動で石岡一高生が育てた梨配る

石岡一高1・2年の生徒会・生活委員会の生徒ら24名と石岡警察署職員、交通安全協会会員、女性ドライバーの会員、交通安全母の会会員が市役所前の交差点にて交通安全街頭活動を行いました。信号待ちの車の運転手に声をかけ、石岡一高園芸科の生徒が育てた梨（ニイタカ）400個を配り、「交通事故ナシ（梨）」を呼びかけました。

参加した生徒は、「自分たちが呼びかけをすることで、石岡市の交通事故が少しでも無くなれば」と交通安全への思いを話してくれました。



9 / 27

## かすみがうら市と 大規模水害時における広域避難協定を締結

かすみがうら市と、大規模水害時における広域避難に関する協定を締結しました。

この協定は、両市が有する霞ヶ浦・恋瀬川沿川区域で大規模な水害が発生した際に、市境を越えた指定避難所の相互利用を行うものです。

河川の氾濫時に、川を渡って市内の指定避難所へ避難することが困難な場合もあります。その際に、住民の安全な一時避難を図り「逃げ遅れゼロ」に向けた取り組みの一つとして結びました。

